

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者のみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

【 国 語 】	【 数 学 】
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>A(基本)</b></p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>B(応用)</b></p> </div> </div> <p><b>全体的な状況</b> 国語Aでは「言語についての知識・理解・技能」を問う問題の正答率が全国平均よりも高く、十分ではないが基礎的・基本的な学力は定着していると言える。問題を解く意欲も高いようで、無回答率はほとんどの問題が全国平均よりも低く、0%も多い。しかし、「書く能力」「読む能力」については課題がある。</p> <p><b>成果</b> ・楷書と行書との違いを理解することができている。 ・文学的文章における「場面の展開や登場人物の描写」に注意して読み、内容を理解する力がついている。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>A(基本)</b></p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>B(応用)</b></p> </div> </div> <p><b>全体的な状況</b> ・「数と式」「図形」「資料の活用」の領域及び記述式の問題形式に対して課題がある。 ・基礎・基本の分野に関して力がついてきている。全体的に、数学に対して意欲的に取り組む生徒が増えてきている。</p> <p><b>成果</b> ・A問題の、「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の領域において、全国平均を越えていることから、基礎・基本の分野で力がついてきている。 ・加法と減法の計算や連立二元一次方程式など基本的な計算において、きまりにしがいできている。</p>
<p><b>課題</b> ・資料の活用や情報をもとに文章を構成する力、内容を整理する力が弱い。 ・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことや、相手へ効果的に伝わるように書くことが弱い。</p> <p><b>課題解決に向けた取組み</b> ・自分で情報を集め、他人にわかりやすく説明するような作成物を授業に取り入れる。 ・短文作りや記述問題などの「書く」課題を継続的に取り組ませる。 ・抽象的なことを具体的に、または、その反対に置き換えられるような言葉の指導を継続し、読解力をあげる。</p>	<p><b>課題</b> ・B問題の、「数と式」「図形」「資料の活用」の領域において全国平均を下回っている。このことから、基礎基本の力はついてきているが、応用の問題への対応に課題がある。 ・記述式の問題で、全国平均を下回っていることから数学的な思考を論述する力が弱い。</p> <p><b>課題解決に向けた取組み</b> ・自分で答えの導き方を説明することや、入試問題の記述式の問題に挑戦する機会を増やす。 ・授業の開始時に、復習の問題に取り組むことと、少人数授業で数学を苦手とする生徒への学力定着と底上げをする。</p>

【学習状況調査】

状況が良好な主な項目	本校	府	全国		本校	府	全国		
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	79.3	72.6	73.3	<p><b>全体的な状況</b> 自己肯定感を持ち、授業や行事などに積極的に取り組んでいる。クラスや学年で協力し、ものごとをやり遂げるための団結力、そこから得られる達成感を共有でき、個々の学習意欲の向上にもつながっている。</p> <p><b>成果</b> ・自分の意見を伝える積極性に加え、仲間の話を聞き入れ自分の考えをふかめたり、広げたりできる柔軟性を身につけている。 ・授業や行事で成功体験を重ね、自己肯定感を高め自信を持つことができている。 ・学んだことを深めたり、日常生活の中で生かしていく創意工夫を持ち前向きに取り組みをすすめている。</p>	<p><b>課題</b> 家庭での時間の使い方に偏りがあり、スマートフォンやテレビゲームなどに多くの時間を費やしている。家庭学習の定着が不十分であり、学びの復習にかかる時間がなかなかとれていない。読書や新聞を読む機会も少なく、地域や社会で起っている問題に対して視野を広げられない。</p> <p><b>課題解決に向けた取組み</b> ・朝読書と新聞記事を用いた朝学習の取組みを推進させる。 ・自主学習ノートの取組みに、家庭学習プリントを併用し定期的に家庭学習テストを実施し到達度を把握する。 ・家庭での時間の使い方について、お子様とのルールづくり、改善・実行をお願いいたします。</p>				
自分にはよいところがある	75.2	65.6	70.7			<p><b>課題を残した主な項目</b></p>	26.3	27.6	21.4
生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えをふかめたり、広げたりすることができる	69.6	57.5	64.8			1日3時間以上ゲームをする(テレビゲーム・スマートフォンを使ったゲーム)	33.8	38.8	50.5
授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしています	77.9	65.3	70.9			家で、学校の復習をしていますか	23.4	53.0	59.2
						地域や社会で起っている問題や出来事に関心がありますか	29.0	39.3	46.1

○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

今回の学習状況調査から、学習への関心意欲の向上が確認できました。個人だけでなく集団で得られる達成感が自己肯定感・自己有用感を高め、日々の学校生活に前向きに取り組む姿勢を生み出しています。学力状況調査結果からは無回答率の割合が昨年度よりも減少しており最後まであきらめずに取り組む生徒がふえています。一方で、スマートフォンやゲームに費やす時間が増え家庭での予習・復習・自主学習などに取り組む時間の確保ができていません。塾での学習も増えていますが、自分で計画し実行することを習慣化することの必要性も感じます。これらの結果を踏まえ、学習習慣の定着を目指すと同時に、個々の学習到達度を把握しそれぞれの課題を解決していくことに取り組めます。

- ・朝読書の全学年実施(朝読書通信の発行)
- ・課題提示型家庭学習プリントの取組み推進
- ・入学時に大阪府つまづきテストの実施・分析・指導工夫
- ・新聞記事を用いたワークシート学習の実施
- ・家庭学習テストの実施(個々の到達度を把握・指導工夫)
- ・お昼休みと放課後学習室の開室時、学習サポーターによる学習支援を充実させる。